

同志社大学商学部

父母会報



No.81
May 2026

D O S H I S H A U N I V E R S I T Y

Contents

No.81 May 2026

「激変の時代、親もアップデートする時代へ！ そして共に、歩みましょう！」	2
父母会会長 梁 裕之	
父母会ニュース	3
2026年度 父母会定時総会報告	
今出川キャンパスツアーご報告	5
父母のための一日大学ご報告	7
学部より	9
学部長 崔 容熏 学生主任 久納 誠矢	
学業履修について	11
成績通知書の見方	16
学生Challenger	
資格試験合格体験談	17
留学体験談	18
2026年度 商学部教員名簿	19
支部だより	21
同志社大学商学部父母会会則	22
キャンパスカレンダー	23

■表紙の写真

クラーク記念館 [重要文化財]

B.W. クラーク夫妻からの寄付によって建てられ、1894年1月30日に開館いたしました。当初は「クラーク神学館」として、神学教育と研究に利用されていましたが、現在の神学館の完成に伴い「クラーク記念館」と改名されました。R.ゼールの設計によるレンガ造で、エントランス上部の欄間には、「Byron-Stone Clarke Memorial Hall」と刻まれており、夫妻の夭折した息子を今も讃えています。本館にキリスト教文化センターがあり、教室のほか、クラーク・チャペルも備わっています。1979年5月に重要文化財に指定されています。



激変の時代、 親もアップデートする時代へ！ そして共に、歩みましょう！

父母会会長 梁 裕之



至誠館でともに学ぶ子どもたちの保護者の方々、皆様のご苦勞、ご努力に心から敬意を表します。

平素は、同志社大学商学部父母会の活動にご協力をいただき誠にありがとうございます。本年度商学部父母会の会長を務めさせていただき、梁です。よろしく願います。

「大学の父母会？しかも学部で父母会あるってなぜ？大学にPTAみたいな活動が要るのか？どんな活動をしているのか？」そう思われている方も多いでしょう。かつて私自身も同じ気持ちでした。

同志社大学商学部父母会は、全国12の支部があり、56年の歴史を持ちます。

父母会の活動は、商学部と連携を取り、明確な目的のもと、事業を行っています。

父母会の目的は下記の4つです。

1. 商学部学生の保護者の連携と親睦を図る
2. 商学部の制度及び教育内容の理解を深める
3. 商学部の教育事業を後援する
4. 同志社大学の充実発展に寄与する

上記4つの目的のために下記の7つの事業を行っています。

- ①会員相互間の理解啓発向上と親睦のため必要な活動
- ②大学制度/教育内容を理解するため会議/学習会/講演会等の開催
- ③教育研究上の環境整備のために必要な協力
- ④会報の発行その他会員に対する広報
- ⑤就職活動についての後援
- ⑥同志社連合父母会への連携協力
- ⑦その他、この会の目的達成のために必要な事業

なぜ、父母会が存在し、事業を行うのでしょうか？

父母会の主たる事業は、参加することで、私たち保護者が同志社生と向き合うときに、知っておくべきことを学べるように設計しています。

いまの同志社生は、大学1年生からキャリア形成を意識する傾向が高まっています。就職活動の開始時期は今や大学3年生の5月になりました。インターンシップ/留学/起業に挑戦する学生も増え、学びの場が教室にとどまらない時代になりました。

社会では、「一社で一生を過ごす」から、スキルと経験を高め「複数キャリアを歩む人生」へ価値観の転換が進んでいます。経済界は「変化に強く、課題を自ら見つけて行動できる人材」を求めています。

またAIの進化とそれに伴う急速な社会構造の変化は、いままでにないスピードで起きています。AIエージェントとフィジカルAIの社会への実装も進んでいきます。

同志社大学商学部での学びは、社会のニーズに応えるものです。

青年期を同志社大学で過ごし、創立者新島襄の「良心教育」を受け、人間力を高めることになります。

激変の時代、保護者の役割も変わりました。

「大学に入れたから一安心」ではなく、ここからが「子育ての結びの一番」です。

いまの「大学生の親としてどうあるべきか」を、言語化出来ていますか？

子どもが自立へと進んでいく過程で、親も「学び」を続けなければならない時代です。

大学で学ぶ子どもを信じ、適切な距離感で関われるように、一緒に学びながら親力を高めませんか？

同志社生の保護者が、知るべきことを知る。

商学部は、どのような方針で、どのような学びを提供しているのか？

就職活動は、どのようなサポート体制があるのか？

もし、わが子に困ったことが起きた場合は、どこに相談すればよいのか？

同志社大学商学部の情報を知っているからこそ、時にそっと背中を押し、時に黙って見守れる。そんな親学と一緒に磨いていきましょう。

私たち父母会では、同じ商学部の保護者として、情報共有や交流をしています。

皆さまが安心して子どもを支えられるように、学べる環境として事業を行っています。

特に大きな事業は下記の3つです。

①父母懇談会

京都を含めて全国8会場で実施します。全ての会場で、商学部の教授と参加保護者との座談会も行います。学校生活・ゼミ・就活についての最新の活きた情報が得られます。

②父母のための就職セミナー

商学部の学生の就職先や、最新の就活トレンドを知ることが出来ます。就活は去年と今年でも急激な変化が起きています。正しく知ることで親としての備えが出来ます。

③父母のための一日大学

社会/経済/歴史/文化などについて高レベルな講義を、講師の先生をお招きして行います。一緒に知識を高めていきましょう。

商学部父母会公式のInstagramとFacebookも運営しています。昨年はSNS委員会のメンバーが100回の投稿をしてくださいました。父母会からのお知らせ/イベント告知だけでなく、日々のキャンパスや京都の様子もお届けしています。是非登録ください。

今年は京都観光事業を2回実施します。対象は保護者のお住まいが、京都府/大阪府/兵庫県/奈良県/和歌山県/滋賀県以外の方です。京都に来る機会と保護者同士の交流の機会をご準備します。詳細が決まり次第、商学部公式Instagramで告知します。

是非、商学部父母会の事業と交流の場に、気軽にご参加ください。

至誠館でともに学ぶ学生の保護者として、親としての在り方を学び、こどもたちの成長を応援してまいりましょう。

最後になりますが、私たち父母会は、大学と連携しながら、子どもたちの成長を見守り、支える存在でありたいと願っております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

父母会ニュース

2026年度 新入生父母懇談会

4月1日(水) 9時30分より、京田辺キャンパスのデイヴィス記念館にて、入学式が執り行われました。入学式後、10時30分より同キャンパスの知真館2号館201教室にて、商学部新入生のご父母を対象に、「新入生父母懇談会」を開催いたしました。父母会の組織および事業の説明をさせていただき、各支部での活動にご協力いただける方を募りました。

また、商学部長崔 容熏先生より、ご挨拶として商学部における学修の心構えをお話いただき、商学部学生主任 久納 誠矢先生より4年間の学生生活と父母としての接し方についてアドバイスをいただきました。

2025年度 商学部父母会 収支明細表

自2025年4月 1日
至2026年3月31日

収 入	費 目	予 算	決 算	予算と決算の差
会 費		17,600,000	17,400,000	△ 200,000
委 託 費		1,100,000	1,069,200	△ 30,800
入 合 計		18,700,000	18,469,200	△ 230,800

支 出	大学 関係費	学部 援助費	資格試験講座	200,000	200,000	0	
			学生傷害保険	100,000	100,000	0	
			グローバル人材 育成推進事業	500,000	500,000	0	
			父母会文庫図書費	100,000	100,000	0	
			学生損害賠償保険費	1,250,000	1,250,860	△ 860	
	事業費		会報発行費	3,300,000	3,173,204	126,796	
			新入生入学記念品 (会報同封)	200,000	114,866	85,134	
			留学生図書カード費	250,000	256,260	△ 6,260	
			定時総会費	300,000	326,504	△ 26,504	
			新入生父母懇談会費	50,000	40,918	9,082	
			就職セミナー費	1,300,000	1,772,014	△ 472,014	
			一日大学費	250,000	139,996	110,004	
			京都観光	200,000	106,303	93,697	
			会議費	1,200,000	1,254,278	△ 54,278	
		支部活動 関連費		父母懇談会費	3,200,000	3,469,453	△ 269,453
				支部役員会費・支部行事費	1,000,000	1,034,965	△ 34,965
			通信費	800,000	416,755	383,245	
	事務 関連費			職員人件費	3,400,000	3,525,976	△ 125,976
				福利厚生費	550,000	579,508	△ 29,508
			退職金積立金	120,000	120,000	0	
			パソコンリース費	20,000	21,648	△ 1,648	
			印刷費	200,000	148,227	51,773	
			消耗品費	70,000	46,593	23,407	
			雑費	60,000	66,990	△ 6,990	
		慶弔・見舞金	20,000	10,000	10,000		
		予備費	60,000	0	60,000		
	合 計		18,700,000	18,775,318	△ 75,318		

当 年 度 収 支 差 額	△ 306,118
前 年 度 繰 越 金	5,585,419
次 年 度 繰 越 金	5,279,301

2025年度 財産明細表

財産合計	次年度繰越金（本会）		5,279,301
	父母会基金		8,008,889
	京都銀行		392,272
	前受会費金（2026年度分）		3,330,000
	合 計		17,010,462
財産目録 内訳	定期預金	みずほ銀行出町支店	8,000,000
		// 利息	8,889
	京都銀行		392,272
	大学代理事務預り金（残高）		8,609,301
			17,010,462

2026年度 父母会定時総会報告

4月25日(土)に今出川キャンパスの至誠館会議室にて、定時総会を開催いたしました。本会役員、全国12支部の支部長およびに崔 容熏商学部長をはじめ教職員を含む31名に出席いただきました。

総会では、父母会長および崔商学部長のご挨拶で始まり、「2025年度事業報告・会計決算報告」の承認後、2026年度役員の改選が行われました。その後、新役員による「2026年度事業計画案・2026年度予算案」について審議の結果、承認されました。

2026年度 事業計画予算

収 入 の 部		支 出 の 部		※「会費」には前受会費金含む
会 費	17,600,000	大学関係費	2,150,000	
委託費	1,070,000	事 業 費	6,820,000	
		支部活動関連費	5,100,000	
		事務関連費	4,600,000	
合計	18,670,000	合計	18,670,000	

(明細一覧)

大分類	中 分 類	小分類	内 容	
大 学 関 係 費	学部援助費	資格試験講座	200,000	資格試験講座受験に対する援助費
		学生傷害保険	150,000	商学部教育研究傷害保険制度に基づく保険料の一部
		グローバル 人 材 育 成	500,000	商学部科目「海外ビジネスⅡ」にかかる費用の一部
		父母会文庫図書費	50,000	父母会文庫図書購入
	学生損害賠償保険費	1,250,000	学生の学研災・賠償責任保険加入に伴う保険料	
			小計	2,150,000

事業費	会報発行費		3,200,000	会報製作印刷費、原稿テープ起こし依頼費、寄稿者への謝礼、発送委託費
	新入生入学記念品(会報同封)		60,000	オリジナルグッズ制作
	留学生図書カード費		250,000	留学生への図書カード
	定時総会費		350,000	役員交通費、会合費
	新入生父母懇談会費(入学式)		50,000	役員交通費、会合費
	就職セミナー費		1,300,000	講演謝礼、会合費、案内発送費、職員役員交通費
	一日大学費		170,000	役員交通費、講演謝礼、会合費
	京都観光行事		240,000	役員交通、案内発送費、その他
	会議費		1,200,000	本会役員会・支部長会等交通費、会合費
		小計	6,820,000	

支 部 活 動 関 連 費	父母懇談会費	3,700,000	会場、教職員本会役員派遣、支部役員交通費、会合費、記念品代、雑費
	支部役員会費・支部行事費	1,000,000	父母懇以外の支部活動に係る費用
	通信費	400,000	支部行事案内文発送費
	小 計	5,100,000	

事 務 関連費	職員人件費		3,600,000	職員人件費
	福利厚生費		580,000	職員保障費
	退職金積立金		120,000	職員退職金積立
	パソコンリース費		20,000	事務用PCリース料・保守料
	印刷費		150,000	新入生案内パンフレット、事 務作業時印刷費
	消耗品費		50,000	文具、備品等の購入費
	雑費		60,000	振込手数料等
	慶弔・見舞金		20,000	弔電、供花料
		小計	4,600,000	

合 計 18,670,000

学研災付帯賠償責任保険のご案内

商学部父母会では、大学関係費の一部として、学研災付帯賠償責任保険の費用を毎年お支払いしています。商学部の学生は全員保障の対象となり、日本国内外において、学生(被保険者)が正課中、学校行事中、課外活動中又はその往復において、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について、保険金がお支払いされます。詳しいことをお知りになりたい方、また万一の際には、商学部事務室へお問合せください。

2026年度 本会主催事業計画	
4月1日(水)	新入学生父母懇談会
4月25日(土)	定時総会（新年度本会役員・支部長、前年度会長、学部）
5月下旬	会報81号発行 会員へ郵送
5月下旬	学研災付帯賠償責任保険加入
10月12日(月・祝)	父母のための就職セミナー（今出川キャンパス）
11月下旬	会報82号発行 会員へ郵送
1月24日(日)	父母のための一日大学（今出川キャンパス）
2月中旬	2027年度入学試験合格者父母へ父母会案内パンフレット送付
適宜開催	教員父母協議会、役員会

2026年度 各支部父母懇談会日程および会場		
日程	支部	場 所
6月6日(土)	京都・大阪・兵庫・北陸	同志社大学今出川キャンパス（京都）
6月20日(土)	東海	AP名古屋（名古屋）
6月21日(日)	北海道	ACU（札幌）
6月27日(土)	関東	同志社大学東京オフィス（東京）
6月28日(日)	東北	仙都会館（仙台）
7月11日(土)	東中国・四国	セントラルフォレスト（岡山）
7月18日(土)	西中国	広島ガーデンパレス（広島）
7月19日(日)	九州	JR博多シティ会議室（福岡）

※変更がある場合はホームページにてお知らせいたします。

■商学部

都道府県別・支部別

会員数

*ご父母の届出住所（2026年度生については出願書類住所）をもとに集計しています。（2026年4月現在）

都道府県	2026年度	2025年度	2024年度	2023年度 以前生	合 計	支部別人数	
京 都	127	139	141	153	560	京都	998
滋 賀	57	59	61	52	229		
奈 良	59	46	50	54	209	大阪	1,032
大 阪	246	227	238	280	991		
和 歌 山	9	11	10	11	41	兵庫	527
兵 庫	130	130	129	138	527		
愛 知	47	51	35	48	181	東海	306
岐 阜	8	9	12	8	37		
三 重	14	13	12	8	47		
静 岡	12	14	8	7	41		
岡 山	13	11	10	10	44	東中国	59
鳥 取	2	4	5	4	15		
広 島	20	11	9	13	53	西中国	77
島 根	2	1	1	6	10		
山 口	2	3	4	5	14	四国	103
徳 島	5	5	5	5	20		
愛 媛	9	6	7	7	29		
香 川	13	7	8	9	37		
高 知	4	7	5	1	17	九州	170
福 岡	16	18	23	22	79		
佐 賀	2	2	2	3	9		
長 崎	3	3	1	2	9		
熊 本	4	4	4	10	22		
大 分	5	2	2	3	12		
宮 崎	3	3	4	2	12		
鹿 児 島	4	1	3	4	12		
沖 縄	4	4	3	4	15		
富 山	2	2	6	8	18	北陸	73
石 川	6	8	10	5	29		
福 井	7	4	6	9	26	関東	202
新 潟	4	3	3	3	13		
茨 城	3	3	0	4	10		
栃 木	4	3	3	4	14		
群 馬	6	6	7	5	24		
埼 玉	4	2	3	5	14		
千 葉	6	6	4	10	26		
東 京	8	14	8	14	44		
神 奈 川	11	9	8	10	38		
山 梨	1	4	2	1	8		
長 野	3	3	3	2	11		
北 海 道	13	8	8	8	37	北海道	37
青 森	1	3	1	3	8	東北	46
岩 手	0	0	2	4	6		
宮 城	2	3	3	8	16		
秋 田	0	0	2	1	3		
山 形	2	2	3	1	8		
福 島	1	2	1	1	5		
そ の 他	21	22	18	27	88	その他	88
合 計	925	898	893	1,002	3,718	合計	3,718

2026年度 父母会役員	
役 職	氏 名
会 長	梁 裕 之
副会長(京都)	山 内 幸 枝
// (大阪)	加 藤 幸
// (兵庫)	澤 井 洸 蕎
// (東海)	渡 会 尚 弘
監 事(京都)	中 原 麻 紀
// (大阪)	中 司 加寿子
理 事(京都)	小 山 こずえ
// (京都)	高 垣 浩 美
// (京都)	岡 田 勝 利
// (京都)	玉 城 誓 子
// (大阪)	松 尾 弘 崇
// (大阪)	吉 本 陽 子
// (大阪)	伊 藤 賢 治
// (大阪)	大 西 景 子
// (兵庫)	嵯峨山 恵 子
// (兵庫)	澤 井 久 美
// (東海)	松 木 悟
// (東海)	伊 藤 誉示乎
// (西中国)	立 畠 英 樹
// (九州)	山 川 香奈子
// (関東)	高 木 裕

2026年度 各支部支部長	
支部	氏 名
京 都	山 内 幸 枝
大 阪	加 藤 幸
兵 庫	澤 井 洸 蕎
東 海	伊 藤 誉示乎
東 中 国	山 下 恵梨子
西 中 国	川 本 紀 子
四 国	梁 裕 之
九 州	福 山 由佳子
北 陸	梁 裕 之
関 東	高 木 裕
東 北	横 戸 誠 恭
北 海 道	田 向 隆 之

2026年度 顧問・参与(商学部)	
役職	氏 名
顧問 学 部 長	崔 容 熏
監事 学部教員	山 内 雄 気
参与 学部教員 (学生主任)	久 納 誠 矢
参与 事務長	浅 原 純

『同志社大学 今出川キャンパスツアー』開催のご報告

同志社大学商学部父母会
京都観光委員会 中司加寿子

11月9日(日)同志社大学今出川校地にて、関西地区以外のご父母を対象とした「今出川キャンパスツアー」を開催いたしました。

本企画は申し込みの締め切り日を待たずして募集人数を超えるほどのご好評をいただき、当日はあいにくの雨模様にもかかわらず、たくさんの方々にご参加いただきました。

良心館地下1階の学生食堂にお集まりいただき、父母会 梁会長よりご挨拶、同京都観光委員会 高橋委員長からは当日のご説明をしたあと、各自お好きなメニューをお召し上がりいただきました。

「本日の参加者は全員、お子様と離れて暮らしておられる保護者です。お悩みごと同じ方々ですから、ぜひ交流なさってください！」との梁会長の言葉どおり、その後、参加者同士の交流が自然と始まっていました。

食事の後は、同日開催された「ホームカミングデー」のプログラム(学生・生徒によるステージ)をご観覧いただきました。

その後、記念撮影をしてから、今出川キャンパス内の施設を巡るキャンパスツアーを実施いたしました。

キャンパスツアーでは、参加者のみなさんが役員のガイドに熱心に耳を傾けながら興味をもって参加されている姿がとても印象的でした。

キャンパスツアーの終了をもって解散となりましたが、その後もキャンパス内を散策されたり、新



～『今出川キャンパスツアー』を終えて～

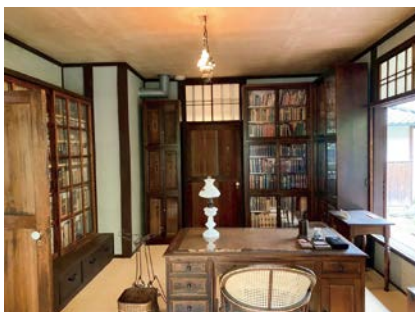
ご参加いただいたみなさまには、親元を離れてこの今出川キャンパスで学ばれているご子女に想いを馳せながら、同志社大学をより身近に感じていただけたのではないのでしょうか。

本企画をとおしてご子女と同じ体験をされたことで、大学についてより知っていただき、ご子女との共通の話題がより増えることを願っております。

このたびはお足元の悪いなか、ご参加いただき誠にありがとうございました。

島旧邸の見学に足を伸ばされる方もいらっしゃいました。

また、ホームカミングデーの野点やカフェで一息つかれたり、ステージイベントを楽しまれるなど、思い思いの時間を過ごしておられました。



参加者の声

- 役員の方々のホスピタリティ溢れる対応に大変感謝しました。
- キャンパスツアー以外にも何か他の保護者と交流できる場があったら、嬉しいと思いました。
- すてきなイベントを企画していただきありがとうございました！
大学の歴史の深さ、校風を体感でき、大変有意義な時間でした。
- 今まで、父母会へのお誘いを何度か頂いておりましたが、敷居が高そうで遠慮していたのを後悔しています。支部役員の方々、保護者の方々と、出会えたことに感謝です。若い大学生のパフォーマンスも元気がもらえました。すべて素敵でした！本当にありがとうございました。
- キャンパスに初めて行くことができて嬉しかったですし、時間的にも内容的にもちょうどよく、とても良かったです。貴重な機会を提供してくださり、誠にありがとうございました。
- ホームカミングdayに合わせてやっていただいたのは、参加しやすかったのがよかった。コーヒーにお茶菓子、お茶、グッズもいただけて最高の一日になりました。
企画していただきありがとうございました。
この企画は継続して欲しいです。本当に楽しかったです。



1月に開催された父母のための一日大学（講義体験）の内容をお伝えします

2025年度 父母のための一日大学 開催報告

同志社大学商学部父母会 副会長 森井 大輔

開催日時：2026年1月25日(日)13:00～15:30

開催場所：同志社大学今出川校地室町キャンパス寒梅館ハーディーホール

開催内容：第1部講演 田畑泰彦氏（京都大学大学院医学研究科特任教授／京都大学名誉教授）

「わかりやすい再生医療の本質と今後 ～自然治癒力を介したからだに優しい医療～」

第2部講演 高橋広行氏（同志社大学商学部教授／同志社大学大学院商学研究科教授）

「Z世代の価値観とマーケティング対応 ～消費者行動から就職先まで～」

2026年1月25日(日)に同志社大学今出川校地室町キャンパス寒梅館ハーディーホールにて、今年度の「父母のための一日大学」を開催いたしました。

今年度も講師を2名お招きし、2部構成にて開催いたしました。

第1部では京都大学大学院医学研究科特任教授／京都大学名誉教授の田畑泰彦氏をお招きし、ご専門の再生医療について講演いただきました。

第2部では同志社大学商学部教授／同志社大学大学院商学研究科教授の高橋広行氏をお招きし、マーケティングを中心とした研究内容を講演いただきました。

当日は約250名の父母の皆様が来られ、熱心に聞き入っておられました。中にはメモを取っていらっしゃる方もおられ、関心の高さが伺えました。また、興味深いテーマであることはもちろんですが、時折ユーモアを交えて話される両教授のトークに引き込まれ、楽しみながら学ぶことができました。会場全体が講演内容と先生方のお人柄に引き付けられました。

【第1部】 田畑泰彦氏（京都大学大学院医学研究科特任教授／京都大学名誉教授）

「わかりやすい再生医療の本質と今後
～自然治癒力を介したからだに優しい医療～」

再生医療の本質や現状、今後の可能性、アンチエイジングとの違いなど、再生医療という言葉は知っていても普段詳しく聞く機会のない分野について、専門家である田畑先生からお話を聞けるまたとな



い機会となりました。難しいイメージのある再生医療についてユーモアも交えながら平易な言葉で説明頂き、理解を深めることができました。

工学・医学・薬学を横断し研究されていることや企業と連携して実用化へ繋げていることなど、先生ご自身の研究内容の説明もあり大変興味深い内容であったと同時に、何よりも先生ご自身の、一人でも多くの人を助けたい、という熱い思いが伝わってくる講演となりました。

【第2部】 高橋広行氏（同志社大学商学部教授／同志社大学大学院商学研究科教授）

「Z世代の価値観とマーケティング対応
～消費者行動から就職先まで～」

学生達の世代であるZ世代について、データ分析に基づく価値観の特徴・クラスター分析から導くタイプ別に向いている企業、など、当日集まった父母が気になるお話を聞ける機会となりました。企業での実務経験がある高橋先生は、研究者・実務者両方の視点を持ってお話に臨まれるため、父母にも親しみやすい内容となりました。普段学生が学んでいる商学部分野の一部を共有させていただき、若い世代の考え方や消費行動が理解できたことに加え、ゼミ生の活動内容も紹介いただき、学生達が生き生きと学んでいる様子まで伝わってくる講演となりました。





父母のための一日大学に参加した方の声

- 普段はなかなかお聞きすることができない分野の第一線でご活躍の先生のお話で大変興味深く、あっという間の時間でした。もっとより具体的なお話をたっぷりお聞きしたいと思いました。
- とても頭の良い方なのに、軽妙なおもしろい語り口で分かりやすく説明していただき、ど素人の私でも大変興味深く聞く事ができました。
- 再生医療のことを素人にも非常にわかりやすく解説頂けたことと、日本の研究界が医療分野でさえもグローバルスタンダードに遅れているのを知れたのは収穫でした。未来を背負う若者世代に、事実として伝えていこうと思います。
- 商学部のお顔でもある高橋先生の講演が聞けて、まさにZ世代を抱える親、及び張本人たちにも刺さるすばらしい内容でした。
- これからの日本経済を支えていくZ世代を詳細に分析しておられ、さらにそれをAIも駆使して親しみやすく可愛げあるイラストで提示され、世代を超えて伝わる最先端のプレゼンがお見事でした。
- 息子が普段学んでいる環境を体感する事ができ、素晴らしい先生方からの話を聴く事はとても楽しく、幸せな時間でした。
- 講演内容が、大学生親子にとって最大の関心の一つでもある就活だったこと、それを父母会で取り上げて頂き、ありがとうございます。
- 今回に限らずいつも父母会行事のチョイスが秀逸で、運営スタッフさん方に感謝申し上げます。

商学部ご父母の皆様へ

商学部長 崔 容熏



ご父母の皆様、はじめまして。商学部長の崔 容熏と申します。このたびは、お子様の同志社大学商学部へのご入学、誠におめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げますとともに、学生の皆さんがこれからの4年間を通して大きく成長されるよう、全力でサポートしてまいります。

1875年に新島襄が創設した同志社英学校を前身とする同志社大学は、昨年創立150周年を迎え、新たな転換期に入りました。同志社は、学問の探究に加え、キリスト教精神に基づく徳育を重んじ、自主自立の精神と国際的視野を備えた人物の育成を教育理念として掲げています。

新島は「同志社大学設立の旨意」において、大学の役割は単なる知識の教授にとどまらず、学生一人ひとりの個性を涵養し、品性と精神を磨くことによって、「良心を手腕に運用する」人物を育成することにあると述べています。この理念のもと、同志社は自由と伝統に支えられた学風を育んできました。

また商学部は、1922年に設立された同志社専門学校高等商業部を起源とし、1949年の新制大学発足を経て、本年で104年目を迎えます。次の100年に向けて、新たな一歩を踏み出したところです。近年、商学部の学生は多方面で目覚ましい活躍を見せています。例えば、難関資格の一つである公認会計士試験においては、在学中に最終合格を果たす学生が毎年二桁にのぼり、その数は着実に増加しています。さらに、先日イタリアで開催されたミラノ・コルティナ冬季オリンピックでは、本学部の森田真沙也さんがフィギュアスケート団体競技において銀メダルを獲得しました。学業と競技の双方において優れた成果を収める学生たちの姿は、まさに文武両道を体現するものであり、誠に誇らしい限りです。

商学部では、国内外の企業や産業が直面する多様な課題を理解する力を育成するため、幅広い知識と深い洞察に基づいたカリキュラムを編成しています。同時に、キャンパスで多様な学生が交流し、異なる価値観や考え方に触れることも、大学教育の重要な一環です。

同志社大学では、近年著しく進展した情報通信技術を

積極的に活用し、2024年度より「DO-WEEK」と呼ばれる新たな学年暦を導入いたします。この制度では、13週の対面授業に加え、残り2週分の授業をオンデマンド形式で受講することが基本となります。その結果、夏季および春季休暇が拡充され、フィールドワークや各種実習、インターンシップ、ボランティア活動など、主体的な学びの機会がさらに広がる見込みです。また、海外留学プログラムへの参加機会も増えることが期待されています。

不確実性の高い現代社会においては、複眼的な知識と多様な経験が不可欠です。商学部では、新入生の皆さんが多様な価値観や知識に触れる機会を最大限に提供できるよう、教育環境の充実に努めてまいります。ご父母の皆様におかれましては、何卒ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

商学部父母会は1971年に発足し、本年で55周年を迎えます。これまでの長い歴史の中で、資格試験講座の開講、父母会文庫の設置、保険加入への補助など、さまざまな形で学生生活と教育環境の充実にご尽力いただいておりますこと、心より御礼申し上げます。特に近年におきましては、扶桑館教室のプロジェクター更新に際しご寄付を賜るとともに、公認会計士試験に合格した学生への奨学金支給など、格別のご支援を頂戴しております。ここに重ねて深く感謝申し上げます。

父母会総会では、商学部の教職員も参加させていただき、ご父母の皆様と直接お話しできる貴重な機会となっております。また、支部総会においては、同志社大学の近況や商学部の現状をご報告するとともに、カリキュラムや就職活動の状況についてもご説明申し上げます。今年度も6月から7月にかけて、今出川キャンパスを含む全国8ヵ所にて支部父母懇談会を開催予定です。お子様の学習状況に関するご相談や、大学・学部へのご要望を伺う大切な場として活用いただければ幸いです。

商学部は、知的能力のみならず、良心と徳性を兼ね備えた人物を育む教育の実現をめざし、日々取り組んでおります。ご父母の皆様には、今後とも温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

AI時代における教育

学生主任 久納 誠矢



近年、AI（人工知能）技術の飛躍的な発展は、社会のあらゆる分野に大きな影響を及ぼしています。その象徴的な出来事として、2024年のノーベル物理学賞および化学賞において、AIに関連する研究分野が受賞対象となったことが挙げられます。これは、AIが単なる補助的技術ではなく、学術研究の中核を担う存在にまで発展したことを示しており、この潮流は教育の在り方にも大きな変化をもたらしています。特に、ChatGPT（OpenAI）やGemini（Google）などのテキスト生成AI、MidjourneyやStable Diffusionなどの画像生成AIの普及によって、教育は効率性と利便性の面で飛躍的に進歩しました。一方で、その急速な浸透は、教育における「没個性」という新たな問題を浮かび上がらせています。たとえば、授業における発表資料をAIに任せることで、多くの学生が似たような構成やデザインのスライドを作成し、さらに自宅学習の課題を生成AIに瞬時に解かせることも、この2、3年で急速に日常化しております。大学という個性を育む教育の現場で、このような没個性を推進してしまうAI技術の進歩への対応は現在のところ、後手に回っているのが実情です。

AIは大量のデータをもとに、平均的で合理的な答えを導き出すことを得意とします。しかし、その利便性に過度に依存すれば、学習者の思考や表現は均質化しやすくなり、独自の視点や発想が失われる危険があります。本来、何かを調べる過程では、答えに到達するまでに多様な知識や観点に触れ、人それぞれ異なる理解の道筋をたどります。その過程こそが思考の個性を育て、関連する知識を広げる契機となるのです。確かに、AIは「すぐに答えが欲しい」とときには非常に効率的です。しかし、その便利さゆえに、考える過程そのものを省略し、結論だけを受け取る学習に陥る危険があることを見過ごしてはなりません。もちろん、このような時代においてAIを使わないという選択肢をとることは非現実的です。重要なのは、AIに使われるのではなく、人間がAIを適切に使いこなすことであり、そのために教育において最も重視すべきなのが、論理的思考力と主体性の育成であると

考えます。

論理的思考力とは、事実に基づく根拠を踏まえ、因果関係を明確にしながら結論を導く力です。AIの提示する答えは一見すると正確で合理的に見えますが、その妥当性を判断し、自らの理解として再構築するためには、論理的な検証能力が不可欠です。AIの出力をそのまま受け入れるのではなく、「なぜその結論に至るのか」「他の可能性はないのか」と問い続ける姿勢こそが、これからの時代の学びに求められます。また、主体性の育成も同様に重要です。AIが容易に答えを提示してくれる環境では、学習者は受動的になりやすくなります。しかし、本来の学びの価値は、自ら課題を見だし、試行錯誤を重ねながら解決策を模索する過程にあります。主体的に考え、行動する力がなければ、AIは単なる依存の対象になってしまいます。反対に、主体性を備えた学習者にとってAIは、自らの思考を拡張し、可能性を広げるための有効な道具となりえます。

今後の教育においては、AIを前提とした学習環境の中で、いかに論理的思考力と主体性を育てていくかが核心的なテーマになるでしょう。そのためには、単に解答の正しさだけを評価するのではなく、そこに至る思考の過程や根拠の提示を重視する評価方法が求められます。また、複数の視点から議論し、自分の考えを他者と比較・検討する学習活動を充実させることも必要です。知識の量だけでなく、どのように考え、どのように活用するかを重視した教育設計が、これまで以上に重要になると考えます。

主体性を重んじる伝統のある同志社大学商学部には、多様な分野の専門家がそろっており、得た知識をどのようにビジネスに応用していくかを多角的に学ぶことができる環境があります。さらに、AIの発展のように変化の激しい時代においても、その潮流に乗り遅れることなく、時代の先端を走る教育環境の整備に努めていきたいと考えておりますので、今後とも何卒ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

学業履修について

大学は、高校までとは違い、学生が時間割を自分で決めます。これは、大学という場が単に与えるだけの場ではなく、学生一人ひとりが異なる目的に沿って得たい知識や教養を習得し、人格形成をも含めた成長を自ら求める場であるからです。

商学部では、様々な企業活動を分析するために、経済・歴史、商業・金融、貿易・国際、企業・経営、簿記・会計の5つの専門科目群を配置し、それらの専門領域を体系的に学ぶことができるようにしています。また、専門知識を深めるかわら、広い教養も身につけることができるよう、商学部が開講する授業のほか、他学部が開講している授業や教養分野の科目、外国語、体育などとても広い分野から授業を選択できるシステム（以下、「カリキュラム」と言います）を設けています。

学生には、カリキュラムの仕組みや授業科目の登録方法などについて、『履修要項』や「DUET」と呼ばれるWebを利用した学修支援システムなどでお知らせしています。また、商学部事務室の窓口では、科目履修をはじめ学生生活を送る上での相談に応じています。

ここでは、2013年度以降生のカリキュラムについて、ご父母にもその概要をご紹介します。

I. 科目履修

1. 卒業するために必要なこと

商学部を卒業するためには、4年以上在学し（ただし、休学等を除く）、卒業必要単位である126単位以上を修得しなければなりません。商学部では、2013年度より「商学総合コース」と「フレックス複合コース」の2コース制を導入しており、各コースでの卒業必要単位の内訳は下記のとおりになります。この内訳にしたがって各コースで必要とされる単位数を修得することになります。

卒業に必要な要件を満たしますと、学士（商学）の学位が授与されます。

〔商学総合コース〕（数字は単位数）

1類	導入科目	4単位以下		
2類	入門科目	4科目登録必修 6単位以上	6	
3類	学系基礎科目Ⅰ	5科目登録必修 8単位以上	8	
	学系基礎科目Ⅱ	各学系から2単位以上	10	
4類	学系展開科目	主学系4単位以上、副学系4単位以上	20※1	80以上
5類	実践科目			
6類	専門外国語科目		2	
7類	演習科目	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		
8類	隣接科目			
9類	教養科目	全学共通教養教育科目	12以上	
10類	外国語科目	外国語教育科目から2カ国語選択	各8	16以上
11類	自主選択科目	他学部設置科目等	18以下	
合 計			126以上	

※1 選択した主学系・副学系から合計20単位以上を履修すること。

〔フレックス複合コース：専門特化型〕（数字は単位数）

1類	導入科目	4単位以下		
2類	入門科目	4科目登録必修 6単位以上	6	
3類	学系基礎科目Ⅰ	5科目登録必修 8単位以上	8	
	学系基礎科目Ⅱ	各学系から2単位以上	10	
4類	学系展開科目	主学系10単位以上	10	70以上
5類	実践科目			
6類	専門外国語科目		20※2	
7類	演習科目	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		
8類	隣接科目			
9類	教養科目	全学共通教養教育科目	12以上	
10類	外国語科目	外国語教育科目から1カ国語選択	8以上	
11類	自主選択科目	他学部設置科目等	36以下	
合 計			126以上	

※2 4類学系展開科目のうち、選択した主学系科目のみが20単位に算入される。

[フレックス複合コース：副専攻型] (数字は単位数)

1類	導入科目	4単位以下		
2類	入門科目	4科目登録必修 6単位以上	6	
3類	学系基礎科目Ⅰ	5科目登録必修 8単位以上	8	
	学系基礎科目Ⅱ	各学系から2単位以上	10	
4類	学系展開科目	主学系10単位以上	10	70以上
5類	実践科目			
6類	専門外国語科目		2	
7類	演習科目	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		
8類	隣接科目			
9類	教養科目	全学共通教養教育科目	12以上	
10類	外国語科目	外国語教育科目から1カ国語選択	8以上	
11類	自主選択科目	他学部設置科目(副専攻パッケージ科目を含む)等	36以下※3	
合 計			126以上	

※3 選択した副専攻パッケージから10単位以上を修得すること。

2. セメスター制度について

商学部ではセメスター制度を導入しています。セメスター制度とは、「1年間を春学期と秋学期に分け、それぞれの学期で完結する授業を行い、成績評価も学期ごとに行う制度」のことで、大学入学から卒業までの4年間で、8つのセメスターに分け、セメスター毎に科目履修と成績評価を行います。

学生には、各学期の終了後(年2回)にWEBにて成績を通知しています。商学部父母会では、会員のご父母にも成績通知書を父母会報とともに年2回、ご自宅に郵送でお届けします。

3. 商学部のカリキュラム

商学部では、体系的・段階的に学んでいただけるよう、「科目群」や「履修条件」「履修年次」などを設けています。「商学部履修体系(標準的年次別履修例)」、「商学部カリキュラムの概要」は12・13頁のとおりです。

Ⅱ. 科目登録について

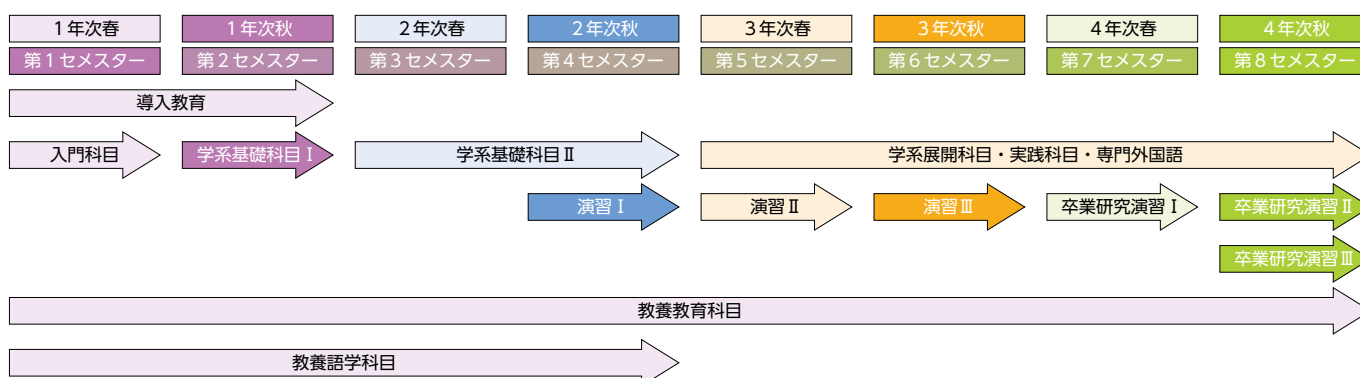
まず、学生は、前述のⅠ等にしたがって受講したい科目を選択して履修計画を立てます。次に決められた期間に決められた方法により科目選択の意思表示をする必要があります。この手続きを「科目登録」といいます。「科目登録」をしなければ授業は受けられません。

1. 登録単位数の制限

科目登録は、各学期において最高・最低登録単位数の範囲内で行わなければなりません。また、1年間の最高登録単位数を超えることはできません。

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
年間最高登録単位数	40		44		40		48	
学期最高登録単位数	30	30	34	34	30	30	46	46
学期最低登録単位数	10	10	10	10	10	10	2	2

■ 商学部履修体系(標準的年次別履修例)



学業履修について

商学部カリキュラムの概要 5 学系

商 学 部 専 門 科 目	導 入 科 目	アカデミック・リテラシーⅠ					アカデミック・リテラシーⅡ					ビジネス・トピックス														
	入 門 科 目						簿記学Ⅰ・Ⅱ					基本統計学					現代ビジネス									
	学系基礎科目Ⅰ	経済・歴史学系					商業・金融学系					貿易・国際学系					企業・経営学系					簿記・会計学系				
	学系基礎科目Ⅱ	経済学					商業学					国際経済学					経営学					会計学				
	学系展開科目	ミクロ経済学					流通論					貿易論					経営管理論					簿記学Ⅲ				
		マクロ経済学					マーケティング論					貿易業務論					経営組織論					工業簿記Ⅰ				
		計量経済学					金融論					国際金融論					経営戦略論					財務会計論				
		商業史					証券論					国際商取引論					経営史					監査論				
	展開科目	経済変動論 市場と人間 経済統計分析 戦略の経済学 日本商業史 現代商業史 オペレーションズ・リサーチ					商品学 観光論 交通論 物流システム論 消費者行動論 マーケティング・リサーチ 貨幣論 銀行論 金融政策論 ファイナンス論 企業金融論 保険論 リスクマネジメント 金融システム論 [15年度生～] 商業・金融のための統計数理 [13、14年度生]					世界経済論 現代国際金融 経済統合論 欧米経済論 発展途上国経済論 アジア経済論 国際ビジネス・コミュニケーション論 国際電子商取引論 貿易契約論 貿易外国語（英） [22年度生～] 貿易外国語（英） [13～21年度生] 貿易外国語（中国語） [22年度生～] 貿易外国語（中） [13～21年度生]					労務管理論 生産管理論 現代企業論 ソーシャル・マネジメント論 [22年度生～] 公企業論 [13～21年度生] 中小企業論 経営分析論 経営統計論 ビジネス・リサーチ 国際経営論 技術経営論 事業システム論 コーポレート・ガバナンス論					簿記学Ⅳ 工業簿記Ⅱ 財務諸表論 制度会計論 情報会計論 管理会計論 原価計算論 税務会計論 国際会計論 財務諸表監査 財務諸表分析				
		展開特講科目	展開特講科目					展開特講科目					展開特講科目					展開特講科目								
	実践科目	実践科目																								
	専門外国語科目	外国書講読（英語）※2021年度以前生：外国書講読（英） 外国書講読（他） Business English 専門外国語特講																								
	演 習 科 目	演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅰ					演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅱ					演習Ⅲ 卒業研究演習Ⅲ														
	隣 接 科 目	経済・法律科目																								
	教 養 科 目	全学共通教養教育科目（一般教養・語学・体育）																								
	自主選択科目	大学コンソーシアム京都単位互換科目等																								

2. 科目登録の方法

学生が、「DUET」というWEB上の学修支援システムを利用して行います。

科目登録には、先行登録（外国語など、クラスの定員が決まっている科目などについては、クラスを決めるために、一般の科目登録に先行して登録期間が定められている）と一般登録（登録のための選考をする必要のない一般の科目登録）があります。各登録期間については、学生に配布する『登録要領』やDUET、掲示板などでお知らせしています。

3. 「登録科目確認」と「登録エラー修正」

学生には、授業開始後1週間程度で登録科目をお知らせしています。また同時に、同じ時間に複数の科目を登録したような場合に生じる「登録エラー」もお知らせします。登録エラーを修正せずに放置すると強制削除されますので、商学部事務室にて修正する必要があります。

4. 「履修中止」について

授業開始から1ヵ月程度、授業を受けてみて、「自分の思っていた内容と違う」「望ましい評価が得られそうもない」という場合は、その科目について、定められた期間中に、一定の条件のもとに履修を中止することができます。

Ⅲ. 成績評価について

同志社大学では、成績評価制度としてGPA制度を導入しています。この制度は、現在、国際的にもっとも認知度が高く、日本の大学においても標準的成績評価制度として、普及している制度です。GPA制度導入の目的は、大学教育の国際競争環境に関する教員と学生双方の自覚を高め、GPAを核とした的確な履修指導や学習支援システムを充実させることにより、学生の自立的な自己教育を支援し、本学の教育を質的に一層向上させることにあります。

1. GPA制度の概要

各科目の成績評価を以下の判定基準に従い、5段階（A、B、C、D、F）で評価し、各成績評価段階に4.0～0.0の評点（GradePoint）を付与して、1単位あたりの評定平均値（GradePointAverage）を算出する方法です。GPAは、不合格を意味するF評価の成績を含めて以下の計算式で算出します。

〈GPAの評価基準〉

評価	評点	判定内容
A	4.0	特に優れた成績を示した
B	3.0	優れた成績を示した
C	2.0	妥当と認められる成績を示した
D	1.0	合格と認められる最低限度の成績を示した
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった

〈GPAの算出方法〉

$$(\text{A}) \times 4.0 + (\text{B}) \times 3.0 + (\text{C}) \times 2.0 + (\text{D}) \times 1.0 + (\text{F}) \times 0.0 \div (\text{A} + \text{B} + \text{C} + \text{D} + \text{F})$$

※A～D、Fは、A～D、Fの評価がついた科目の単位数の合計

成績通知書には履修したすべての科目の評価とGPAが記載され、成績証明書には不合格科目を除く履修したすべての科目の評価とGPAが記載されます。

2. 成績評価の書き換えについて

GPA制度では、F（不合格）評価を得た科目によって下がった全体の評価（GPA）を挽回するため、F評価を得た科目を再履修してD評価以上を得た場合、直近のF評価を新たな評価に書き換えることができます。

※注意：成績を書き換えられない科目もあります。

《例》

●再履修回数1回の場合

	履修年度	科目名・クラス	評価		GPA算入
初履修	2026	経済学-1	F	→	されない
再履修	2027	経済学-2	C	→	される

学業履修について

●再履修回数 2 回の場合

初履修	履修年度 2026	科目名・クラス 経済学－1	評価 F	→	GPA 算入 される
再履修 1 回目	2026	経済学－2	F	→	されない
再履修 2 回目	2027	経済学－3	C		される

3. 成績評価をサポートする制度について

GPA 制度のもとでは、成績評価について厳格に運用することが求められていますので、授業クラスごとの評点の平均値や分布、授業講評を公開しています。

また、前述しました登録科目の「履修中止」制度のほか、大学は学生から授業内容・授業方法に関する改善の要望や成績評価に関する質問・異議申し立てを受け付ける「クレーム・コミティ制度」や、病気などやむを得ない事由により試験を受験できなかった場合の「追試験制度」などが設けられています。

いずれの制度も手続きの期間は定められていますので、学生には「DUET」や掲示板などでお知らせしています。

■ 参考資料 成績分布 2025年度秋学期終了時点

2025年度生（2 年次生）900 人

2024年度生（3 年次生）894 人

2023年度生（4 年次生）830 人

【全科目 GPA】

平均点	人数	%	累計	累計%
3.80以上	55	6.11	55	6.11
3.60－3.79	90	10.00	145	16.11
3.40－3.59	82	9.11	227	25.22
3.20－3.39	108	12.00	335	37.22
3.00－3.19	99	11.00	434	48.22
2.80－2.99	99	11.00	533	59.22
2.60－2.79	64	7.11	597	66.33
2.40－2.59	58	6.44	655	72.78
2.20－2.39	72	8.00	727	80.78
2.00－2.19	54	6.00	781	86.78
1.80－1.99	31	3.44	812	90.22
1.60－1.79	26	2.89	838	93.11
1.40－1.59	25	2.78	863	95.89
1.20－1.39	17	1.89	880	97.78
1.00－1.19	7	0.78	887	98.56
0.80－0.99	9	1.00	896	99.56
0.60－0.79	1	0.11	897	99.67
0.59以下	3	0.33	900	100.00

平均点	人数	%	累計	累計%
3.80以上	16	1.79	16	1.79
3.60－3.79	50	5.59	66	7.38
3.40－3.59	62	6.94	128	14.32
3.20－3.39	69	7.72	197	22.04
3.00－3.19	86	9.62	283	31.66
2.80－2.99	103	11.52	386	43.18
2.60－2.79	105	11.74	491	54.92
2.40－2.59	91	10.18	582	65.10
2.20－2.39	76	8.50	658	73.60
2.00－2.19	79	8.84	737	82.44
1.80－1.99	48	5.37	785	87.81
1.60－1.79	40	4.47	825	92.28
1.40－1.59	26	2.91	851	95.19
1.20－1.39	17	1.90	868	97.09
1.00－1.19	8	0.89	876	97.99
0.80－0.99	3	0.34	879	98.32
0.60－0.79	1	0.11	880	98.43
0.59以下	14	1.57	894	100.00

平均点	人数	%	累計	累計%
3.80以上	13	1.57	13	1.57
3.60－3.79	36	4.34	49	5.90
3.40－3.59	60	7.23	109	13.13
3.20－3.39	102	12.29	211	25.42
3.00－3.19	85	10.24	296	35.66
2.80－2.99	86	10.36	382	46.02
2.60－2.79	98	11.81	480	57.83
2.40－2.59	74	8.92	554	66.75
2.20－2.39	91	10.96	645	77.71
2.00－2.19	72	8.67	717	86.39
1.80－1.99	43	5.18	760	91.57
1.60－1.79	23	2.77	783	94.34
1.40－1.59	16	1.93	799	96.27
1.20－1.39	10	1.20	809	97.47
1.00－1.19	6	0.72	815	98.19
0.80－0.99	3	0.36	818	98.55
0.60－0.79	6	0.72	824	99.28
0.59以下	6	0.72	830	100.00

【全科目修得単位数】

単位数	人数	%	累計	累計%
40以上	431	47.89	431	47.89
35－39	302	33.56	733	81.44
30－34	112	12.44	845	93.89
25－29	28	3.11	873	97.00
20－24	14	1.56	887	98.56
15－19	7	0.78	894	99.33
10－14	3	0.33	897	99.67
9以下	3	0.33	900	100.00

単位数	人数	%	累計	累計%
84以上	190	21.25	190	21.25
79－83	230	25.73	420	46.98
74－78	191	21.36	611	68.34
69－73	97	10.85	708	79.19
64－68	79	8.84	787	88.03
59－63	43	4.81	830	92.84
54－58	19	2.13	849	94.97
49－53	14	1.57	863	96.53
44－48	8	0.89	871	97.43
39－43	5	0.56	876	97.99
34－38	5	0.56	881	98.55
33以下	13	1.45	894	100.00

単位数	人数	%	累計	累計%
124以上	45	5.42	45	5.42
119－123	230	27.71	275	33.13
114－118	205	24.70	480	57.83
109－113	98	11.81	578	69.64
104－108	71	8.55	649	78.19
99－103	51	6.14	700	84.34
94－98	37	4.46	737	88.80
89－93	15	1.81	752	90.60
84－88	13	1.57	765	92.17
79－83	12	1.45	777	93.61
74－78	15	1.81	792	95.42
73以下	38	4.58	830	100.00

成績通知書の見方

- * 成績通知書は、春（5月下旬）、秋（11月中旬）の年2回商学部から送付します。
2023年度以降は学生の同意書の提出が必要となります。学生の同意なしにご父母に成績通知書をお送りする事は出来ません。
- * 「学業履修について」「成績通知書の見方」（11項～16項）は、秋送付の通知書でも参照いただけますので、それまでこの会報（No81）は保管ください。
- * 各支部の父母懇談会で成績の事でご相談されたい方（2年次生以上）は、今回送付の成績通知書を当日、必ずご持参ください。
- * 本人・父母住所・氏名に誤り・変更がある場合は、商学部事務室にご連絡ください。

2013年度以降生

現在登録履修中の科目です。

それぞれの科目を履修した年度

合格評価で書き換えられた不合格評価であることを示します。

成績通知書の見方

履修年度	期 間	科 目 名 (クラス)	単 位	成 績	担当者名	履修年度	期 間	科 目 名 (クラス)	単 位	成 績	担当者名
		1～8類科目 (80単位以上)						10類 外国語科目 (16単位以上)			
		《 1類 導入科目 (4単位以内) 》				2025	春学期	Core English (LS) - Intermediate 1	2	A	
2025	春学期	アカデミック・リテラシー I	2	A		2025	秋学期	Core English (LS) - Intermediate 2	2	B	
2025	秋学期	ビジネス・トピックス	2	B		2025	春学期	Core English (RW) - Intermediate 2	1	C	
		《 2類 入門科目 (6単位以上) 》				2025	秋学期	Core English (RW) - Intermediate 1	1	A	
2025	春学期	基 本 統 計 学	2	A		2025	春学期	General Academic English (LS)	1		
2025	春学期	現代ビジネス	2	A		2025	秋学期	General Academic English (RW)	1		
2025	春学期	簿 記 学 □	2	A		2025	春学期	ドイツ語入門 I	2	A	
2025	秋学期	簿 記 学 □	2	A		2025	秋学期	ドイツ語入門 II	2	B	
		《 3類 学系基礎科目 》				2025	春学期	ドイツ語応用1	1		
		＜ 学系基礎科目 I (8単位以上) ＞				2025	秋学期	ドイツ語応用2	1		
2025	秋学期	経 済 学	2	A		2025	秋学期	ドイツ語応用4	1		
2025	秋学期	商 業 学	2	B				11類 自主選択科目 (18単位以内)			
2025	秋学期	国 際 経 済 学	2	D		2025	春学期	教育原理	2	F	
2025	春学期	経 営 学	2	C		2025	秋学期	教育原理	2	B	
2025	春学期	会 計 学	2	F				＜他学部科目＞			
2025	春学期	＜ 学系基礎科目 II ＞				2025	春学期	京都メディアの発信戦略と地域貢献 (省略)	2		
2025	春学期	＜ 経済・歴史 (2単位以上) ＞	2								
2025	秋学期	＜ 商業・金融 (2単位以上) ＞	2								
2025	秋学期	＜ 貿易・国際 (2単位以上) ＞	2								
2025	春学期	＜ 企業・経営 (2単位以上) ＞	2								
2025	秋学期	＜ 簿記・会計 (2単位以上) ＞	2								
2025	春学期	ファイナンシャル・プランナー基礎	2	中止							
		《 5類 実践科目 》									
2025	春学期	9類 教養科目 (12単位以上)									
2025	春学期	建学の精神とキリスト教	2	A							
2025	春学期	日本史 (1)	2	中							
2025	春学期	心理学1	2	B							
2025	秋学期	心理学2	2	A							

見 本

同志社大学 成績通知書

学部 商学部 商学科
(商学総合コース)
学籍番号 2025年度生(2年次) 番

氏 名 年 (平成 年) 月 日生
学生ID: 11052XXXX

学籍に関する事項

本人住所 〒 Tel.
父母氏名 〒 Tel.
父母住所 〒 Tel.

異動種別 異動年月日 異動事由
学 入 学 2025年4月1日

学籍に関する事項

種 別	卒業必要単位数		修得数		種 別	卒業必要単位数		修得数	
	科目	単位	科目	単位		科目	単位		
1～8類	80以上	9	20						
入門	6以上	4	8						
学系基礎 I	8以上	4	8						
学系基礎 II	10以上								
学系展開	20以上								
専門外国語	2以上								
9類	12以上	3	6						
10類	16以上	6	8		合 計	126	19	36	
11類科目	18以内	1	2		自由科目				
					免許・資格関係科目				

1～8類平均 20単位 2.91
直近学期GPA 2.77 累積GPA 3.31

本人・父母の住所・氏名に誤り、変更があれば、商学部事務室に届け出てください

試験を受験していないことを示します。

1ヵ月程度授業を受講し、望ましい評価が得られないと判断して、履修を中止した科目です。

●資格試験合格体験談

公認会計士の資格に合格された学生に、目指した理由や合格までのお話を伺いました。

公認会計士への道



白駒 伊吹 さん

1. はじめに

私は令和7年度の公認会計士試験に合格しました。公認会計士とは、監査および会計の専門家のことです。この合格体験記を通して、公認会計士という資格に興味をもていただくと幸いです。

2. 公認会計士を目指したきっかけ

私が公認会計士を目指そうと思ったきっかけは、高校2年生の春のコロナ禍でした。当時、新型コロナウイルスが大流行し、3ヶ月程学校が休校になった期間がありました。私は、高校生の時は野球部に所属していたので、普段は練習や試合で忙しい日々を送っていましたが、3ヶ月の休校期間で自分の将来について考える時間ができました。そんな中で、公認会計士という職業があることを知り、公認会計士について興味を持ち始め、どのような職業であるのかを調べました。調べていくうちに、「面白そう」と思い、大学に入学したら目指そうと思いました。特に、私が公認会計士の仕事で面白そうと思ったところは2つあります。1つ目は、監査業務です。「監査」という仕事は、簡単に言うと、上場会社が発表する決算書が間違っていないかをチェックすることです。上場会社の内部を見ることができると、若いうちから上場会社の経営陣と関わることができるというところに私は魅力を感じました。2つ目は、選択肢が広いということです。公認会計士は先述した監査だけでなく、コンサルティング業務や税理士業務など幅広い分野の業務を行うことができます。公認会計士という資格を通じて、多くのことを経験できるというところに魅力を感じました。

3. 公認会計士試験合格のための取り組み

私は、公認会計士試験の合格のために予備校に入りました。

た。いわゆるダブルスクールですが、大学の授業が終わったら、もしくは大学がない日に予備校へ行き、講義を受けたり、自習をしたりしました。大学1年生の9月に予備校に入り、大学3年生の8月に公認会計士2次試験に合格したので、勉強期間は2年間でした。よく、「大学と予備校の両立は大変ではなかったか？」という質問を受けますが、私は、大学は商学部にて在籍しており、公認会計士試験のための勉強と重なるところが多かったので、大変さは感じませんでした。

具体的な勉強期間ですが、最初の入門期は2～3時間で、上級期は5～7時間、本試験の直前期は8～10時間程度でした。公認会計士試験は、とにかく試験範囲が膨大なので、復習を何度もすることを心がけました。2次試験の勉強期間中は、しんどさを感じることもありましたが、粘り強く勉強し続けたことが合格に繋がったと感じています。

また、予備校では対面授業とWeb授業をハイブリッドで活用していました。極力、対面で受けるようにしていましたが、大学の授業が夜まである時はWeb授業に変えたりして柔軟に対応しました。

4. 公認会計士を目指す学生に伝えたいこと

公認会計士試験は、試験範囲が膨大であり、2年以上の時間を要する非常に厳しい試験だと思います。大学の授業が終わった後や他の学生が遊んでいる中で勉強しなければなりません。しかし、合格を勝ち取ったら、そのような厳しい道を乗り越えた経験やそこから得た自信は今後の人生において最大の財産になると思っています。

公認会計士試験に合格すると、多くの人は監査法人に就職し、監査業務に携わりますが、監査法人では大学在学中に公認会計士試験に合格すると、学生非常勤という形で監査業務を行うことができます。私自身、大学3年生の夏に合格したため、大学4年生時にはすでに監査法人で働いていました。学生のうちから社会に出て、重要な業務を行うことができ、充実した生活を送ることができると思います。

合格までは非常に長く、苦しい道のりですが、合格後には良い人生が待っています。ぜひ、挑戦されてみてください。

●留学体験談

大学派遣留学で延世大学へ留学された学生に、留学先での体験談を伺いました。

節目としての韓国留学と関心の深化



関 陽菜 さん

2025年度秋学期、学部間協定留学制度を利用して韓国の延世大学経営学部へ留学しました。

小学生の頃に好奇心で韓国語を学び始めたことをきっかけとして、関心の幅がいつしか韓国の文化や社会にまで広がり、入学当初から本制度を利用した派遣留学を目標にしていました。

延世大学では、留学生向けの専攻科目や韓国語で開講されている教養科目を受講しました。特に印象に残っているのが「韓国映画の理解」という教養科目です。韓国映画がいかんにして発展してきたのか、当時の時代背景や政権との関連性、韓国ならではのジャンル映画が成立した経緯など、現地の大学だからこそ深く学ぶことができる内容でした。

大学の講義以外では、現地の市民団体や日韓交流おまっりのボランティア活動に参加し、大学生や社会人の方と韓国語でコミュニケーションをとりながら協働するという貴重な経験を積むことができました。また、留学前に学外との交流プログラムで知り合った韓国人学生と再会し、休日に外出したりテスト期間と一緒に勉強したりする中で親しくなりました。どちらも留学の機会があったからこそ生まれた縁であり、人とのつながりの大切さをあらためて実感しました。

さらに私自身が長年にわたって韓国に関心を持ち続けてきたこともあり、ソウル以外の地方都市にも積極的に足を運びました。4か月という限られた期間ながら、水原・江陵・慶州を訪れ、歴史的な遺産や自然、街並みを通じてソウルとは異なる魅力を感じることができました。

私にとって今回の留学は、これまでの好奇心や学びが結実した節目であると同

時に、韓国という国や文化をより立体的に理解し、そこに生きる人々と継続的に関わっていきたいという思いを新たにする契機となりました。

もし留学を検討中の商学部生の方がいれば、ぜひ一歩踏み出してみることをお勧めしたいです。私の場合は商学部事務室への問い合わせを通じて不安や疑問点を解消し、国際課主催の帰国者座談会で先輩方の実体験を聞いたことが最終的な決断の後押しになりました。本学の留学制度そのものだけでなく、充実したサポート体制も積極的に活用するとよいと思います。

最後になりますが、留学にあたり事前の相談から帰国後の手続きまで丁寧にご支援いただいた商学部事務室の皆様に、この場を借りて心より感謝申し上げます。



2026年度 商学部教員名簿



氏名	担当科目
----	------

教 授

崔 容 熏	流通論
服 部 茂 幸	国際金融論
久 松 太 郎	国際経済学
今 西 宏 次	コーポレート・ガバナンス論
稲 見 亨	財務会計論
五百旗頭 真吾	証券論
河 合 隆 治	戦略管理会計
川 満 直 樹	商業史
小 島 秀 信	ポリティカル・エコノミー
牧 大 樹	計量経済学
丸 茂 俊 彦	銀行論
溝 淵 英 之	マクロ経済学
長 沼 健	国際商取引論
内 藤 徹	ミクロ経済学
中 川 優	管理会計論
中 道 一 心	事業システム論
中 岡 孝 剛	経済学

准教授

遠 藤 敏 幸	国際経済学
福 本 俊 樹	経営組織論
日 野 真紀子	西洋商業史
廣 瀬 喜 貴	監査論
石 田 大 典	マーケティング論
伊 藤 正 隆	工業簿記
柿 沼 英 樹	経営組織論

特別客員教授

大日方 隆	会計基準論
-------	-------

助 教

Evgeny KISELEV	国際商務ルール論
中 村 文 亮	経営学

助 教 (有期)

蒙 萌	アカデミック・リテラシー I
柴 田 喜 悠	アカデミック・リテラシー I
高 橋 和 宏	アカデミック・リテラシー I

2026年度 商学部役職者

役職名	氏名
学部長	崔 容 熏
教務主任	辻 村 元 男
教務主任	西 村 幸 子
教務〔入学〕主任	久 松 太 郎

氏名	担当科目
----	------

西 村 幸 子	観光論
太田原 準	技術経営論
佐々木 一 郎	保険論
関 智 宏	中小企業論
志 賀 理	会計学
田 淵 太 一	貿易論
田 口 聡 志	行動会計学
高 橋 広 行	消費者行動論
富 田 健 司	経営統計論
辻 村 元 男	オペレーションズ・リサーチ
植 田 宏 文	金融論
上 田 雅 弘	計量経済学
瓜生原 葉 子	ソーシャル・マネジメント論
山 本 達 司	財務諸表分析
山 下 麻 衣	日本商業史
横 山 斉 理	商業学
吉 川 英一郎	貿易契約論

久 納 誠 矢	ファイナンス論
西 川 純 平	国際開発論
大 原 悟 務	商業学
佐 藤 研 一	国際ビジネス・コミュニケーション論
谷 本 啓	労務管理論
山 内 雄 気	経営史

岡 敏 弘	国際環境経済論
-------	---------

朱 浩 良	国際経済学
-------	-------

徐 小 鈞	簿記学 I・II
山 口 友 規	基本統計学
銀 迪	アカデミック・リテラシー I

(アルファベット順)

役職名	氏名
教務〔国際〕主任	伊 藤 正 隆
学生主任	久 納 誠 矢
学生主任	柿 沼 英 樹
研究主任	小 島 秀 信



タカハシ カズヒロ
高橋 和宏

①経営戦略②今年度より同志社大学商学部に着任いたしました、高橋和宏と申します。私は近年、学術的にも実務的にも大きな注目を集めているプラットフォームと呼ばれるビジネスを対象に、経営戦略の観点から研究を行っております。担当科目は「アカデミック・リテラシーⅠ」および「ビジネス・トピックス」です。これらの科目を通じて、学生の皆様がより専門的な学修を進めるための基礎を築けるよう、工夫を重ねながら授業に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



ヒノ マキコ
日野 真紀子

①西洋を中心とした経済史および経営史②近畿大学経営学部を経て、この度本年4月に同志社大学商学部に着任しました。専門は近現代イタリアの繊維および化学産業を中心とした経済および経営の歴史的分析で、科目は導入科目の他、西洋商業史を担当します。同志社大学商学部で学生の皆さんとともに自身も成長していけるように精一杯努力したいと思います。



モウ モウ
蒙 萌

①国際ビジネス交渉②今年度より同志社大学商学部に着任いたしました。中国・北京出身です。私は国境を越えて商取引を行う際、異なる文化的背景がビジネスに関わる人々の行動にもたらす影響について研究しています。担当科目は、商学部一年生向けの「アカデミック・リテラシー」と「ビジネス・トピックス」です。授業では、商学を学ぶ楽しさを伝えるとともに、主体的に考えるための基礎力の養成に力を入れたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



ヤマグチ トモキ
山口 友規

①組織論、経営戦略論、国際ビジネス②今年度より同志社大学商学部に着任いたしました山口友規と申します。私は、経営理念（社是・企業理念など）が、企業の競争力や組織能力にどのような役割を果たすかを研究しています。優れた企業は変化の激しい環境の中でも一貫した強みを持ち続けますが、その背景には経営理念が社員の判断や行動を方向づける機能があると考えています。日本企業の経営者・社員インタビューをもとに、理念がどのように組織全体へ浸透し、企業の力として結実するかを明らかにしようとしています。

支部だより

今年もお世話になります!!

6月末の東北支部 父母懇談会は、「同士」が集まる場所のような感覚で、毎年楽しみに参加させていただいています。

東北六県から商学部に進学される学生は、1~4年生合わせて例年60名弱、とのこと。=会員数(親)も少ない。だからこそ、不安や心配事等の共有や情報交換が近い距離感でできました。また、先生や職員の方から学校の事を教えていただいたり、遠い京都を少し近くに感じたりして、安心感が増した状態で私は帰路についていました。

この間送り出したばかりと思っていた息子も、あっという間に4年生。他の父母会行事にはなかなか参加できなかったもので、今年こそは!!と考えを巡らしています。

東北支部



山川 裕子

卒業しないのに、祝う母

ひとり娘のご縁から、大学をもっと知りたいと夫婦で役員になった。気づけば北海道から九州まで、名前で呼び合う大切な父母仲間ができた。娘は一年休学し、海外で学び働く道を選択。昨秋帰国し、多くの出会いと経験に育てられている。今は就活本番!とゼミ仲間との卒業旅行に大忙し。娘の卒業は来年なのに、仲間も不思議なうれしい春だ。私も負けずに、先生を囲み“ゼミ父母祝賀会”を企画中。卒業しないのに…(笑)。『(娘の)清花の宝物たちへ、卒業おめでとう。就職してもまた顔見せに来てね。加藤家はいつでもウェルカムよ〜』すべての一期一会に、心から感謝を込めて。

大阪支部



加藤 幸

~そうだ 同志社 行こう~

名古屋では、有名私立大学に進学しようと思うと、まずは関東に行くのか関西に行くのかを考えます。お笑い好きのM-1フリーク娘は迷わず関西へ。

3年前に京都でひとり暮らしする際は、親として不安いっぱいでしたが、ご縁あって妻とともに父母会に参加させていただき、見守る親同士、色々教えてもらい情報交換できた事で心配も和らぎました。本人はホームシックなど皆無で、日本一とされる学生の街〈京都〉を満喫、はんなりと成長しながらとても楽しくご機嫌に過ごしているようです。

私たちが四季折々の古都〈京都〉をしばしば堪能。その機会をくれる娘と同志社に感謝。

娘よ!あと一年めいっぱい〈京都〉で盛り上がれ!!

東海支部



松木 悟

父母会は楽しくてみんな仲良し☆彡

入学式後に集合した九州支部父母会の説明会時に「九州からもこんなにたくさんの新入生が!遠い九州から子を応援する同じ境遇、どなたかとお友達になりたいな〜」と思っていました。その後父母懇親会、父母のための就職セミナーに参加し、出席父母にお声をかけていただいて直ぐにたくさんのママ友ができました。単位、ゼミ、進級、海外留学、海外ボランティアサークル、始発からUSJまで通うアルバイトのこと、格安の引っ越し業者情報、情報は盛りだくさんで尽きず、お茶したり、ランチしたり、世界遺産へドライブ(運転私)に行ったりと父母会の仲間と楽しい時間を過ごしています。子供の心配はつきませんが父母会と一緒に楽しみましょう!どうぞお気軽にご参加ください☆彡

九州支部



山川 香奈子

あなたも「老舗」一緒に「継承」してみませんか?

この寄稿の依頼があったのは2026年2月早々。定年目前の老兵である私が次期関東支部長をお引き受けさせていただく決断に当たり、心動かされる影響を受けた2つの放映がありました。

1つは同志社大学も舞台となっているNHK-BSのドラマ「京都人の密かな愉しみ」で、今シリーズのテーマが「継承」です。同志社大学も建学150年を超えた老舗、商学部父母会も無双な取り組みをしている伝統ある組織。京都大好き関東人の私にとっては、子供のおかげで京都の老舗、伝統を「継承」する機会(支部ですけどね)、京都とのまたとない接点があるのが嬉しんで来たのだと思えました。父母会は3年経験しておりますが、今の関東支部ではドラマのような老舗にまつわる大変なときや人間関係はありません。ただただ近い境遇の方々とのネットワークが築けて、子供のことは無縁の内容でも気軽に話せる場、「愉しみ」が増えましたからこそ、この雰囲気は次の世代にも「継承」しなければと思いました。

もう1つは、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックの選手の数々のコメントシーンです。選手は結果に関わらず「感謝」、「応援」、「支え」があって、続けられてきたと口にしていました。父母会は成績、成果を求められる組織ではないですし、責任も覚悟も問われるものはありませんが、

遠路はるばる支部に足を運んでくださって懇談会では学生の側に立った父母の支援の仕方、関わり方をご教示いただける教職員の皆様への「感謝」、みなさんの各種行事ご参加による「応援」、役員の皆様の準備「支え」があって続くもの。私にも微力ながらお世話になった父母会への恩返しができることはあるのではないかと考えるようになりました。

私自身個人的にも仲良くしていただいている現役員のみなさま、2026年度の3役に手をあげていただいたみなさまにはとても感謝していますし、同じ気持ちを持っていていそうだと実感しており1年間の運営は「密かな愉しみ」にしています。そして同じ時代を過ごした父母会仲間とまたとない交流機会を、子供の卒業後も商学部父母会を応援しながら「継承」したいと思っております。

この寄稿に目を通していただいた関東地区のご父母のみなさま、私たちと一緒に「老舗」同志社大学商学部父母会を「継承」してみませんか?

関東支部



高木 裕

同志社大学商学部父母会会則

第1章 総 則

(名称及び所在地)

第1条 本会は、同志社大学商学部父母会と称し、事務所を同志社大学商学部事務室内（京都市上京区今出川通烏丸東入）に置く。

(目的)

第2条 本会は、同志社大学商学部（以下「商学部」という。）学生の保護者の連携と親睦を図ると共に、商学部の制度及び教育内容の理解を深め、教育事業を後援し、更には同志社大学の充実発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 会員相互間の理解啓発向上と親睦のため必要な活動
- (2) 大学制度と教育内容を理解するための会議、学習会、講演会等の開催
- (3) 教育研究上の環境整備のために必要な協力
- (4) 会報の発行その他会員に対する広報
- (5) 就職活動についての後援
- (6) 同志社連合父母会への連携協力
- (7) その他この会の目的達成のために必要な事業

第2章 会 員

(会員)

第4条 本会の会員は、商学部に在籍する全ての学生の父母又はこれに代わる者とする。

(会費)

第5条 会員の会費は、学生1人につき、学期ごとに2,500円とする。ただし、学生が休学する場合は、会費を免除する。
2 会員は、毎学期の始めに会費を納入するものとする。
3 会費の徴収は、同志社大学に委託して行う。

第3章 役 員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- | | |
|-----|-------|
| 会長 | 1名 |
| 副会長 | 4名以内 |
| 理事 | 15名以内 |
| 会計 | 1名 |
| 監事 | 2名 |

2 職務分掌については、別途、定める。

(役員の選任方法と任期および解任)

第7条 会長は、原則として前年度役員の互選により候補者を選出する。
2 副会長は、会員の中から会長が指名し、理事及び会計並びに監事は、選出された会長と指名された副会長の協議により選出する。すべての役員は総会の承認を得るものとする。但し、会計は、兼任を妨げない。
3 前条の役員のうち会計に関しては、第18条に定める父母会雇用の事務係に委任できるものとする。その場合委嘱の範囲及び費用を文書で取り交わすものとする。
4 役員の任期は1ヶ年とする。ただし、再任を妨げない。補欠又は増員の場合に選任された役員の任期は、前任者又は同種役員の残留任期とする。
5 同条第1項及び第2項の選出は前年度末までに行い、新年度から総会までの間、選出された候補者が会務を代行することができる。
6 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、役員会において解任することができる。
(1) 心身故障のため、職務の執行に耐えられないと認められるとき
(2) 役員会を混乱させたり、父母会の運営に支障となるなど、社会通念上、適切でない行為があると認められるとき

(相談役)

第8条 本会に相談役を置く。

2 相談役は、前会長とし、会長が委嘱する。
3 相談役は、会議に出席して意見を述べることができる。

(顧問)

第9条 本会に顧問を置く。

2 顧問は、商学部長とし、会長が委嘱する。
3 顧問は、会議に出席して意見を述べることができる。

(参与)

第10条 本会に参与を置く。

2 参与は、次の各号に掲げる者に会長が委嘱する。
(1) 商学部教員で商学部長が推薦する者
(2) 商学部事務長
3 参与は、会議に出席して意見を述べるすることができる。

第4章 会 議

(会議)

第11条 会議は、総会及び役員会とする。
但し、委員会を設置することができる。

(総会)

第12条 総会は、毎年1回4月に定時総会を開催する外、必要に応じ臨時総会を開催する。
2 総会は、役員及び支部長をもって構成（以下構成メンバーを「総会委員」という）する。
3 総会は、会長が招集し、議長となる。
4 総会は、役員及び支部長の過半数の出席により成立する。
5 総会においては、次の議事を議決する。
(1) 基本的事業計画に関する事項
(2) 収支予算の決定及び決算の承認
(3) 会則の改正
(4) 会長以下役員の承認
(5) その他会長が特に重要と認める事項
6 議事は、出席者の過半数をもって議決し、可否同数となるときは議長が決定する。但し、委任を認める。受任者は、出席員のみとする。白紙委任の場合は、議長に委任したものとみなす。

(役員会)

第13条 役員会は、原則3か月ごとに開催するほか、必要に応じて開催し、本会運営に必要な事項を協議し執行する。緊急を要する場合は総会に代わり役員会で審議、決定することができる。但し、次回総会において議案として提出しなければならない。

2 役員会は、役員をもって構成する。
3 役員会は、会長が招集し、議長となる。
4 役員会は、役員の過半数の出席により成立する。但し、委任を認める。受任者は、出席員のみとする。白紙委任の場合は、議長に委任したものとみなす。
5 役員会においては、次の事項について審議・報告・執行する。
(1) 総会への提出議案の作成
(2) 次年度会長候補者の選出
(3) 予算の立案と執行状況の報告と執行の承認
(4) 父母会本会主催行事に関する事項
(5) 役員の解任に関する事項
(6) その他会長が必要と認める事項
6 前項の審議事項は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数となるときは議長が決

定する。ただし、(5)役員の解任に関する事項に関しては、解任対象者を除く出席者の3分の2以上の賛成をもって決定する。また、後任役員を選出する場合は、7条4項のたとおり補欠選任として取り扱うものとする。

7 役員会は、本会運営の中心となって活動を掌るものとする。
8 役員会で、別途委員会を設置することができる。

第5章 支 部

(支部の設置と運営)

第14条 本会の事業運営のため、各地に支部を置く。

2 支部は、京都、大阪、兵庫、東海、東中国、西中国、四国、九州、北陸、関東、北海道及び東北の12支部とし、会員は、別表第一の右欄に掲げる居住地に応じて、同表左欄に掲げる支部に属するものとする。
3 各支部において支部の事情により運営が困難な場合は、本会にて運営を代行する。
4 各支部に支部長、その他支部役員を置く。支部役員の選任については支部運営細則に定める。
5 その他他支部の運営に必要な事項は、支部会則に定める。
6 父母会活動での言動が第2条の父母会の目的や第3条の父母会の事業内容から著しく外れており、社会通念上、本会役員会として不適切であると認定された場合は、本会役員会の決議により本会役員職、支部長職および支部役員職を解任することができる。

第6章 会 計

(経費)

第15条 本会の経費は会費、寄付金、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(学部監事)

第17条 本会の会計監査にあたり、第6条に定める監事（以下「役員監事」という。）に加え、学部監事1名を置く。
2 学部監事は、商学部長の推薦を受け、参与である商学部教員の中から会長が委嘱する。
3 学部監事は、役員監事とともに、本会の会計を監査する。
4 学部監事の任期は、役員監事の任期に準じる。

第7章 雑 則

(事務係)

第18条 本会の事務を処理するため、父母会雇用の事務係を置く。
2 事務係が行う事務の取扱いについては、本会運営細則および支部運営細則にて定める。

(教員父母協議会)

第19条 本会が行なう事業の充実を図るため、教員父母協議会を設け、本会と商学部とが事業内容について協議する。
2 教員父母協議会の組織、協議事項等については、別に定める。

(運営についての意見)

第20条 会員は、本会の運営に関し何時でも会長又は支部長に対し、意見を提出することができる。会員から意見があったときは、会長は役員会に、支部長は支部役員会に諮り適正な措置を講じるものとする。

(その他)

第21条 本会則に定めるものの外に本会の会務運営上必要な事項は、本会運営細則に定める。

附 則

1 本会則は1971年4月1日から施行する。
2 第5条の規定は、2011年度以後に入会した会員に適用し、2010年度以前に入会した会員については、なお従前の例による。
3 個人情報取扱いについては、同志社大学が定める規程を準用する。

(1973年4月21日一部改正)

(1974年4月20日一部改正)

(1975年4月19日一部改正)

(1980年7月20日一部改正)

(1991年10月1日一部改正)

(1997年4月19日一部改訂)

(2010年4月17日一部改正)

(2011年4月16日一部改正)

(2015年4月18日一部改正)

(2017年11月25日一部改正)

(2021年4月17日一部改正)

(2022年11月23日一部改正)

(2023年11月11日一部改正)

別表第一（第14条関係）

支部名	居 住 地
京 都	滋賀県、京都府、奈良県
大 阪	大阪府、和歌山県
兵 庫	兵庫県
東 海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
東中国	鳥取県、岡山県
西中国	鳥根県、広島県、山口県
四 国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九 州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
北 陸	富山県、石川県、福井県
関 東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県
北海道	
東 北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

職務分掌について

① 本会の最高意思決定機関は総会とする。

② 本会の執行機関は役員会とする。

③ 役員の職務

会長は、本会を代表し、会務を総理する。

副会長は 会長を補佐し、会長に事故あるときは、会長があらかじめ定めた順位により、その職務を代理する。

本会会計は、事務係と連携し、事務係が行う本会経費の入出金の確認を四半期ごとに行い、本会役員会にて報告する。

会長、副会長は、教員父母協議会に出席する。

④ 本会監事は、半期ごとに会計監査を行い、役員会に報告、及び定期総会に報告する。

⑤ 本会理事は、役員会及び総会に出席し、提出議案について採決する。また緊急動議提出権を有するものとする。

キャンパスカレンダー Campus Calendar

4月1日(水)

春学期始め・春学期入学式

4月11日(土)

春学期面接授業開始

4月29日(水)～5月5日(火) ゴールデン・ウィーク

休講

5月6日(水) 振替休日(憲法記念日)

授業日

5月下旬

成績通知書発送

7月17日(金)

面接授業最終日

7月20日(月) 海の日

試験日

7月18日(土)～7月31日(金)

春学期期末試験

8月1日(土)～9月10日(木)

夏期休暇

9月21日(月)

秋学期始め・秋学期入学式

9月26日(土)

春学期卒業式・学位授与式

10月2日(金)

秋学期面接授業開始

10月12日(月) スポーツの日

授業日

11月1日(日)、11月2日(月)

同志社クローバー祭(スポーツフェスティバル)

11月3日(火) 文化の日

授業日

11月23日(月) 勤労感謝の日

授業日

11月26日(木)～11月28日(土) 休講

創立記念行事週間

11月29日(日) 休日

創立記念日

*** ホームページのお知らせ ***

https://com.doshisha.ac.jp/parents_association/

インターネット上に、ホームページを開いています。



〈父母会の新着情報〉

○父母懇談会

○父母のための一日大学

○父母のための就職セミナー

等

日時、会場、講師等、いずれも詳細が決まり次第、随時更新します。

所属支部からのご案内もご覧いただけます。

ぜひ、アクセスしてください。

商学部父母会のFacebook・Instagramができました。
是非、フォローをお願いします。



Facebook



Instagram

発行
編集・制作
連絡先

2026年5月

同志社大学商学部父母会

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

同志社大学商学部事務室内

月～金 9:00-17:00 (11:30-12:30除く)

TEL : 075-251-3660 FAX : 075-251-3068

e-mail : sho-fubo@mail.doshisha.ac.jp